

富士川の樹脂モル

いいものが、ここにあった。なるほど、これは使える。仕事ができる。どんな下地にも柔軟に対応して、強力な接着力を誇る富士川の「樹脂モル」。曲げ強度、圧縮強度、耐衝撃性、さらには防錆性、防水性、中性化防止に優れ、収縮が小さく、亀裂が発生しにくいのも大きな特長。作業性も抜群です。下地調整用既調合SBRコンテックスモルタル。是非おためしを。

富士川建材工業株式会社



出来る。使える。多様な下地に対応できる下地

●特長

- ★様々な下地に対し抜群の接着力。
- ★曲げ強度・圧縮強度・耐衝撃性に優れる。
- ★防錆性・防水性・中性化防止に優れる。
- ★収縮が小さく、亀裂が発生しにくい。
- ★作業性が良い。

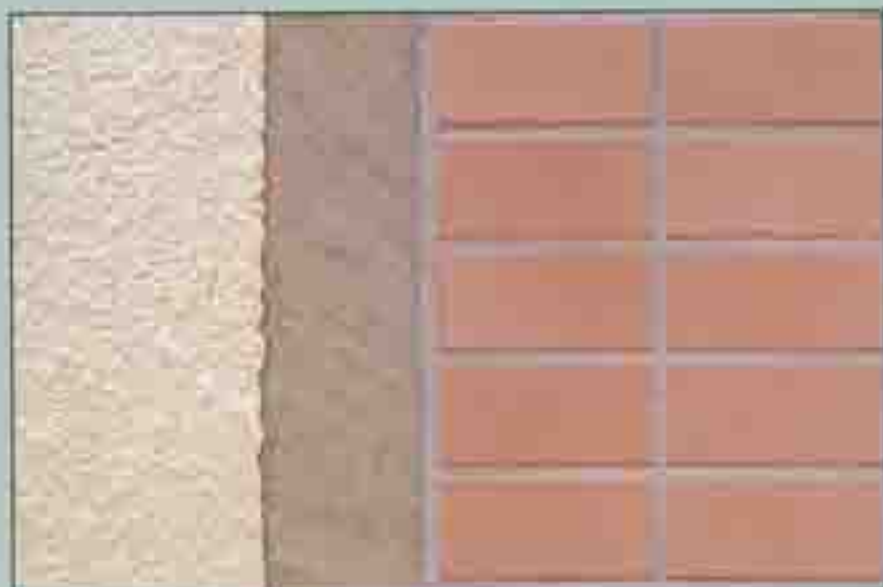
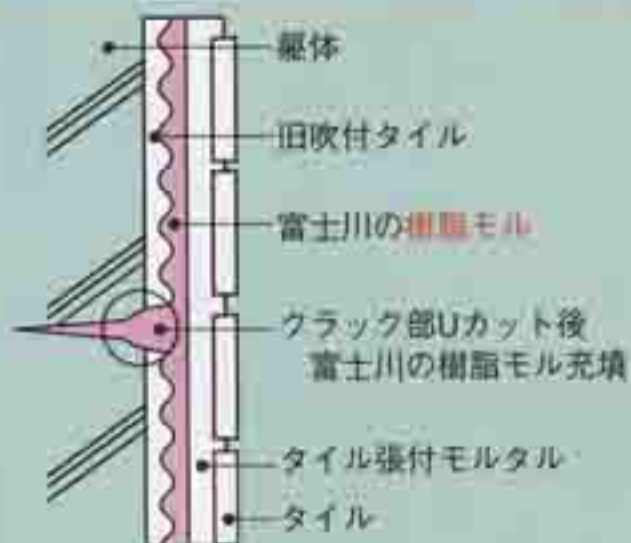
●用途

- コンクリート
- モルタル
- ブロック
- タイル
- 各種吹付材
- スレート
- ウレタン
- エポキシ
- アスファルト
- 鉄板
- 合板
- タイル貼り付け

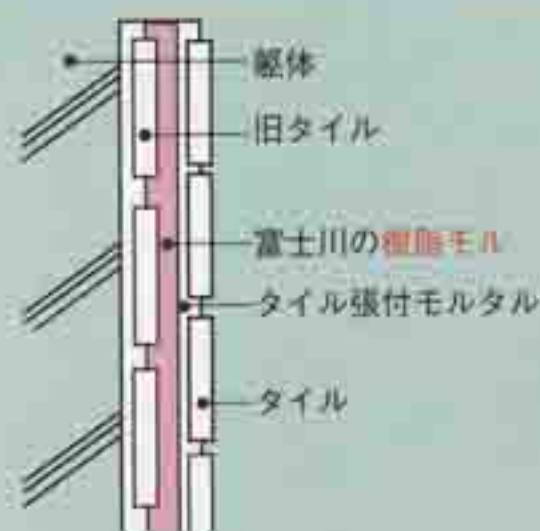
※ただし、アルミ、プラスチック、油面には接着しません。

●施工図例

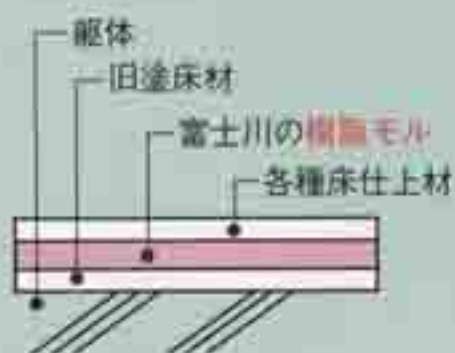
旧吹付タイル仕上げをタイル仕上げに



旧タイル仕上げをタイル仕上げに



塗床の改装に



調整用既調合SBRラテックスモルタル。



●施工

1. 下地処理

- ① 下地の突起物、レイトンス、脆弱部分などはサンダー、ワイヤーブラシ等で除去し、ワックス、油分は中性洗剤等で落とし、水洗いしておきます。
- ② 著しい不陸はあらかじめ補修し、2日以上放置しておきます。
- ③ 錆の発生した鉄部及び鉄筋には、ワイヤーブラシ等で十分に錆び落としを行います。

2. 富士川の樹脂モルの施工

① 材料混練り

バール缶に混和液を入れ、ハンドミキサーで攪拌しながら、主材を徐々に投入し、均一に混練りします。水は使用しません。



バール缶に混和液を入れる。



主材を徐々に加えながら、均一に混練りする。

※全量使用しない場合は、主材、混和液の比率を次の重量比に計量して使用して下さい。

[コテ用/10:3、ローラー用/10:6]

※タイル貼りに使用する場合は、混和液を少なめに混練りして下さい。

② 塗り付け

〈コテ用〉コテを用いて圧力を加えながら、塗り付けて下さい。標準塗り厚:1~2mm。

〈ローラー用〉ローラーを用いて塗り付けて下さい。標準塗り厚:1mm。

※吸水が激しい下地の場合は、富士川シーレックス希釈液(吸水調整材)を塗付するか、下地に充分水湿しをして下さい。吸水調整材の場合は乾燥してから、水湿しの場合は完全に引いてから塗り付けて下さい。

●性能

★諸物性

		試験結果	試験方法
曲げ強さ	(N/mm ² (kgf/cm ²))	12.3(125)	JIS A 6916
圧縮強さ	(N/mm ² (kgf/cm ²))	28.9(295)	JIS A 6916
付着強さ N/mm ² (kgf/cm ²)	標準状態	1.5(15.0)	日本建築工学会規格M-101に準ずる(塗厚1mm)
	熱冷繰り返し後	1.3(12.8)	
耐ひび割れ性		ひび割れの発生なし	JIS A 6916
耐衝撃性		割れ、及びはがれなし	JIS A 6916
吸水量(g)		0.8	JIS A 6916
透水量(g)		0.1	JIS A 6916

★各種下地に対する接着強度

下地	接着強度(N/mm ² (kgf/cm ²))	
	標準状態	熱冷繰り返し後
コンクリート	1.5(15.0)	1.3(12.8)
エポキシ塗料	1.6(16.0)	1.6(11.2)
鉄板	1.5(15.1)	
磁器タイル(施釉)	1.8(18.5)	
合板	1.0(9.8)	

●荷姿・塗面積

名称	荷姿	標準塗厚及び標準塗面積
富士川の樹脂モル	バール缶入りセット 主材:15kgポリ袋入り 混和液:4.5kgバック入り	1mm厚 11m ²

★ローラー用

名称	荷姿	標準塗厚及び標準塗面積
富士川の樹脂モルローラー用(白)	バール缶入りセット 主材:10kgポリ袋入り 混和液:6kgバック入り	1mm厚 11m ²



●注意事項

【安全上の注意】

- 取り扱いはできるだけ皮膚に触れないようにし、必要に応じて保護具を着用して下さい。
- 皮膚に付着した場合は清浄な水で十分に洗い流して下さい。
- 目に入った場合は、ただちに清浄な水で最低15分間、目を洗浄した後、直ちに眼科医の手当を受けて下さい。
- 粉塵等を吸い込んで気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けて下さい。
- 飲み込んだ場合は、指をのどに差し込んで吐き出させ、清浄な水で口の中をよく洗浄し、直ちに医師の手当を受けて下さい。
- 取り扱いは手洗い及びうがいを十分行って下さい。
- 飛散した材料は、掃除機等で吸い取って回収して下さい。泥状液は砂や、布に染み込ませて処理して下さい。また、草木にかかると枯れる場合がありますので、十分な養生をして下さい。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。

【施工上の注意】

- 気温5℃以下の場合には作業を中止するか、適切な保温措置をとって下さい。
- セメント・砂・水を追加混合しないで下さい。
- 強い通風及び直射による乾燥を避けて下さい。必要によりシート養生、散水養生を行って下さい。

- 施工中及び硬化までの降雨降雪は避けて下さい。
- 選別した材料は日陰におき、夏期30分以内、冬期約80分以内に使い切ってください。
- 使用後の器具は水で洗浄して下さい。
- 施工面以外は養生し、万一付着した時はすぐに水洗いして下さい。

【保管上の注意】

- 製品は凍結、高温を避けて、湿気の少ない場所にパレットなどを敷き、床面より離して保管して下さい。
- 開封した材料は密閉して保管し、早めに使い切ってください。
- 製造年月日より、3ヶ月以内に使用して下さい。

【輸送上の注意】

- 破損・落下・荷崩れ防止等に配慮して下さい。
- 降雨等の水ぬれに配慮して下さい。

【廃棄上の注意】

- 産業廃棄物として、適切な処理をして下さい。

※詳細な内容が必要な場合にはお問い合わせください。

連絡先：富士川建材工業株式会社 TEL. (045)772-1811 内



— 建築仕上げの流れを創る —



富士川建材工業株式会社

URL <http://www.fujikawakenzai.co.jp/> e-mail mail@fujikawakenzai.co.jp

本社・本社工場	横浜市金沢区鳥浜町13	〒236-0002	TEL (045)772-1811	FAX (045)772-0011
大阪工場	大阪府茨木市島1-18-5	〒567-0854	TEL (072)630-6557	FAX (072)638-8797
仙高出張所	仙台市若林区志波町17-14	〒984-0041	TEL (022)232-5312	FAX (022)239-6852
関東営業所	埼玉県坂戸市横沼744	〒350-0203	TEL (049)288-4550	FAX (049)288-4580
東京営業所	東京都足立区花畑2-4-52	〒121-0061	TEL (03)5686-5650	FAX (03)5686-5643
横浜営業所	横浜市金沢区鳥浜町4-20	〒236-0002	TEL (045)769-2326	FAX (045)773-1315
名古屋出張所	名古屋市東区出来町3-12-2	〒461-0032	TEL (052)711-1221	FAX (052)711-1222
大阪営業所	大阪府茨木市島1-18-5	〒567-0854	TEL (072)630-6511	FAX (072)638-8766
広島出張所	広島市西区庚午中4-10-14	〒733-0822	TEL (082)272-2000	FAX (082)271-5558
福岡出張所	福岡市城南区鳥飼7-1-19	〒814-0103	TEL (092)831-5636	FAX (092)841-7808
工事管理部	横浜市金沢区鳥浜町13	〒236-0002	TEL (045)775-0771	FAX (045)772-0467
大阪工事課	大阪府茨木市島1-18-5	〒567-0854	TEL (072)630-6511	FAX (072)638-8766